氏名	岡　莞　爾
学位の種類	医　学　博　士
学位授与番号	乙　第５８１号
学位授与の日付	昭和48年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 （学位規則第５条第２項該当）
学位論文題目	**ラットの実験的肝炎―組織学的および免疫学的研究**
論文審査委員	教授 平木　潔　教授 大藤　真　教授 妹尾左知丸

学位論文内容の要旨

肝炎の慢性化,進展の過程における自己免疫現象を究明するため,ラットを使用して,同種肝とComplete Frend's adjuvantによる感作,および感作脾細胞による Passive transferを行った。同種肝と complete Freund's adjuvantによる感作により，対照群に比して著明な肝グリソン氏鞘ならびに類洞内の円形細胞浸潤，肝細胞壊死，星細胞反応を認め，小数例においては，グリソン氏鞘内の lymphoid focusを観察した。感作脾細胞による passive transferにては,肝臓内グリソン氏鞘ならびに類洞内の円形細胞浸潤および piecemeal necrosisを主とする肝細胞壊死が小数例において認められた。

次に，血中抗肝抗体，および組織内γグロブリンならびに抗肝抗体局在を検索した所，上記組織変化との間に有意の相関を認めなかったが，感作ラット末梢血リンパ球の肝抗原添加培養により，対照群に比し有意の blast-like transformationを認めた。以上の実験成績からヒト肝疾患においてみられる肝グリソン氏鞘内の lymphoid focusならびに piecemeal necrosisが自己免疫現象の組織表現であるという想定がある程度裏づけられたと考える。

論文審査の結果の要旨

本研究は，ラットに実験的肝炎を作成し，組織学的および免疫学的研究を行うことによって，肝炎の慢性化，進展の過程における自己免疫現象を究明したもので，新知見を多々得ており，価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は，医学博士の学位を得る資格があると認める。